高齢者の移動支援について

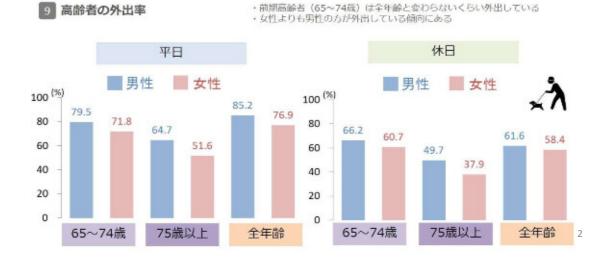
令和元年10月11日 NPO まちづくりの達人ネットワーク 理事長 伊豆原浩二

1. 高齢者の移動実態

一平成27年全国都市交通特性調査(国交省資料)より-

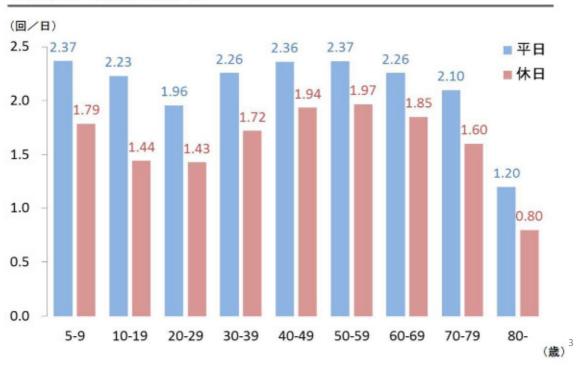
1全体の傾向

前期高齢者(65~74歳)、後期高齢者(75歳以上)共に、 男性の方が外出している。前期高齢者は全年齢と変わらないくらい外出している。後期高齢者の休日の外出率は5割 未満で2日か3日に1回くらいしか外出していない。



80歳未満の高齢者の1日の移動回数は他の年齢と比較しても少ないとはいえない。





60代、70代の高齢者の1日の移動回数は増加傾向にあり、20代の若者より活動している傾向.



高齢者の移動目的は、平日休日共に「買物」が最も多い. 前期高齢者の男性は就業している割合が高い. 後期高齢者 になると男女共に通院が多くなる.

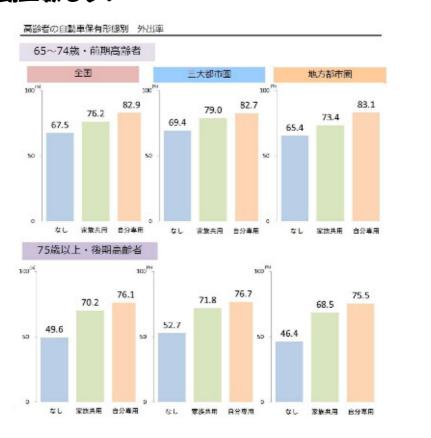
高齢者の移動の目的構成比



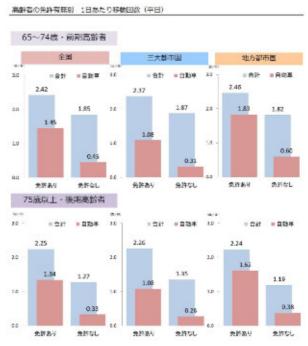
前期高齢者の男性は自動車(運転)を使う傾向が大きい. 女性や後期高齢者男性は徒歩での移動が多くなる. 公共交通機関が少ない地方都市圏では自動車の利用が多く、 女性は自動車でも同乗が多く、徒歩も多い.

高齢者の移動の交通手段別構成比 ■バス ■鉄道 ■自動車(運転) ■自動車(同乗) ■自動二輪車 ■自転車 ■徒歩 0% 20% 40% 60% 80% 100% 男性 40.6 17.9 5.9 12.0 65 天 10.8 4.9 女性 16.7 17.8 21.2 26.6 74 男性 70.2 5.8 7.6 10.7 地 歳 方 女性 1.5 33.4 26.2 2.8 13.8 18.3 男性 10.7 5.4 32.5 9.7 2.8 13.2 25.7 天 75 女性 14.5 7.2 5.1 1.7 12.9 24.8 33.8 歳以上 男性 17 56.3 9.1 2.3 10.1 17.5 地 方 女性 1.7 9.6 13.0 32.6 2.2 11.8 29.1

自動車保有者、運転免許保有者の方が外出する割合が高く、 1日の移動回数も多い.





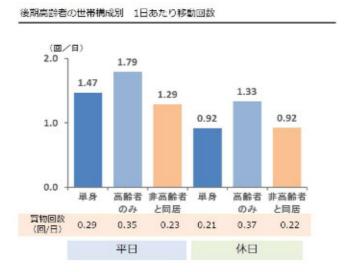


②世帯構成からの傾向

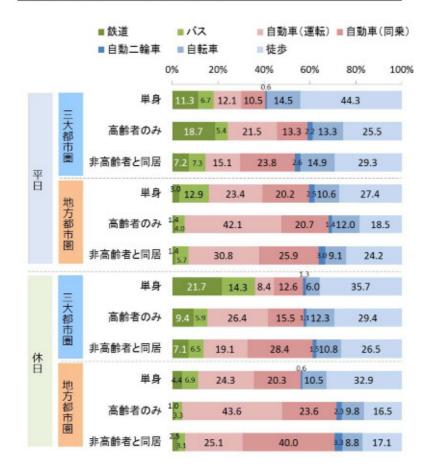
後期高齢者の単身、非高齢者と同居の人は、高齢者のみの人に 比べて1日の移動回数が少ない。

交通手段では、単身の人は徒歩移動の傾向が強く、3大都市圏では自動車利用の割合が少なく、公共交通利用が多い.

地方都市圏の高齢者のみの人は、自動車(運転)が多い、また、 非高齢者と同居している人は、3大都市圏、地方都市圏とも自 動車に同乗している割合が高い。



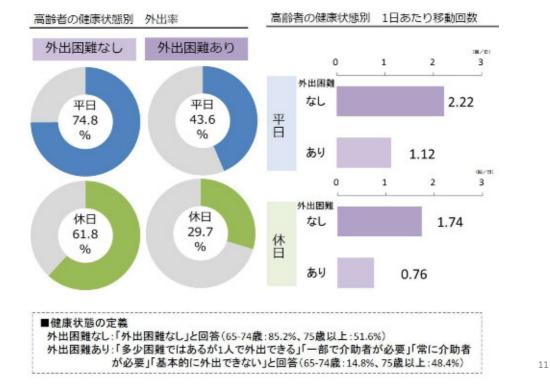
後期高齢者の世帯構成別 移動の交通手段別構成比



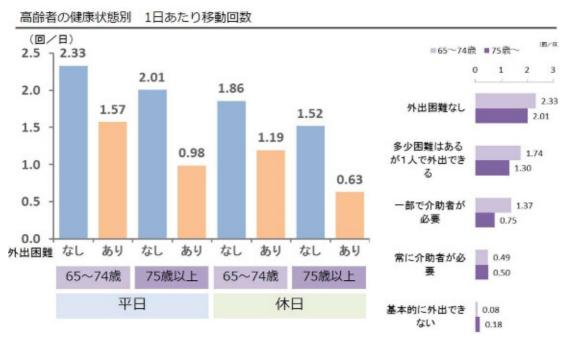
10

3健康状態からの傾向

「外出困難あり」の人は、「外出困難なし」の人に比べて、 外出率も1日の移動回数もかなり少ない.



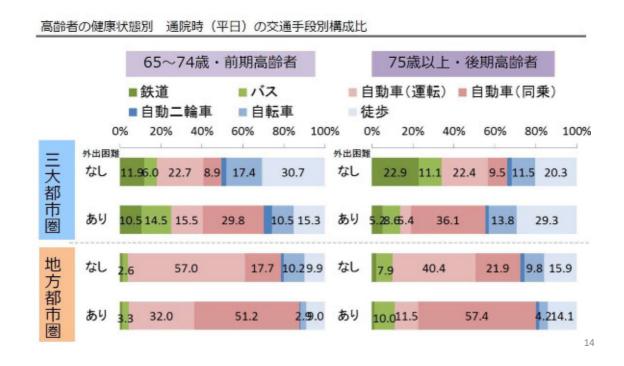
75歳以上の後期高齢者では、「外出困難あり」の人が約 半数(48.4%)を占め、「外出困難なし」の人の移動回 数の半分以下である.



「外出困難なし」の人の移動回数は、通院以外の買物、食事等、観光等といった目的で多く、特に後期高齢者では その傾向が強い。

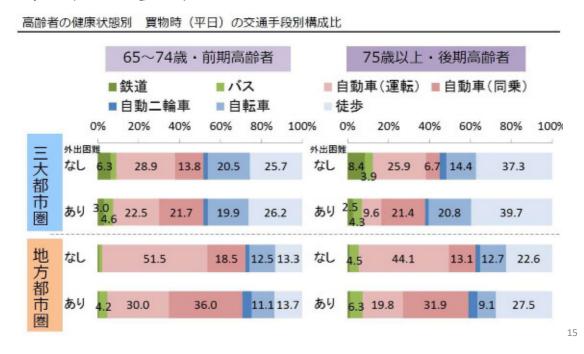


通院目的の交通手段では、「外出困難なし」の人は自動車 (運転)が多いが、「外出困難あり」の人は自動車(同乗) が多く、後期高齢者はその傾向が強い、また、公共交通利用 (バス)も多い。



買物目的の交通手段では、「外出困難なし」の人は自動車 (運転)が多く、「外出困難あり」の人は自動車(同乗) が多くなっている。

また、「外出困難あり、なし」ともに徒歩、自転車の利用 が多く、その差は少ない.



(参考):運転免許の自主返納件数は確実に増加、特に75歳以上でその傾向が大.



(参考)運転免許の保有:69歳以下の高齢者の保有率はほぼ平均かそれ以上、75歳以上の後期高齢者は免許保有率は低い(特に女性と80歳以上).



17

2. 高齢者の移動に関する課題

交通(移動)

派生需要:ある目的を果たすために移動する

(移動することが目的:散歩、

サイクリング、ドライブ等)

多くの高齢者(リタイヤした人)は、行わなく てはいけない目的、行かなくてはいけない場所 といった制約が非常に少なくなる.

→ 楽しい、面白い、やり甲斐がある等と いった目的、場所が必要。

移動手段の問題

自動車 一 自分で運転・・・運転能力の低下

送迎してもらう・・・誰に?

鉄道 ―― 駅まで行かないと利用できない.

垂直移動を伴うことが多い.

バス ―― バス停まで行かないと利用でき

ない、移動中の立乗りは危険が

伴う.

自転車 ― 身体能力の低下. 利用空間の貧

弱さ、交通ルールが難解、

徒歩 ―― 身体能力の低下. 歩行空間の貧

弱さ.

19

3. 高齢者の移動手段に関する 施策の事例

愛知県内ではコミュニティバス等の運行など創意工夫に富 んだ移動サービスが展開中

3.市町村のコミュニティバス等の運行状況

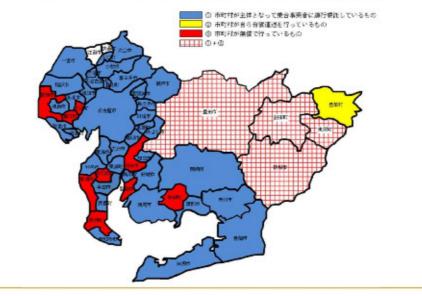
令和元年5月1日現在、愛知県内において、コミュニティバスは県内54市町村のうち52市町村(約96%)で運行されている。

自主運行バス種別			その他		
市可付が主体と なって乗合事業者 に進行表記して (小心心の (油料運送法4条計可) (旧21条許可を含む)	市町戸が自ら 有機運送を 行っているもの (運搬運送法で発達費) (100)優許可)	市町村が無償で 連歩を行って いるもの (運輸業基本機構件)	市町村が 特定の施建への 送起目的で運行 を行っているもの	免合バス事業者 の対異語様で 対しておけれが 複数しているもの	関語市町村に 乗り入れているもの
42市町村	5市町村	10市町村			
コミュニティパス運行市町村数 52 (全54市町村のうち96%)			25市町村	23市町村	27市町村

※複数の運行影響を採用している市町村があるため市町村数の合計は一致しない。
※放棄町、東米町、豊根村の8町村は、地域公共交通活性化再生法による法定協議会を共同で設置し、コミュニティバスを共同運行している。

愛知県資料

◆図表 コミュニティバスの市町村別運行形態

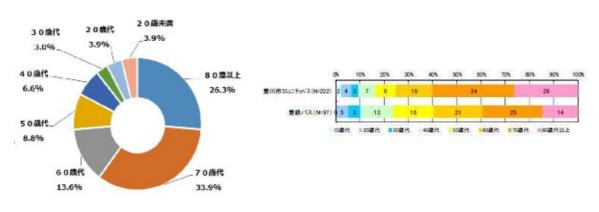


愛知県資料

有償運送と無償運送 有償運送は、道路運送法に基づく旅客運送

21

- ・多くの市町村は、住民代表や関係機関、学識経験者による地域公共交通会議や法定協議会を組織して、運行改善や利用促進などについて話し合っている.
- ・利用者の年齢構成(例)は以下の通り、他の例 も同傾向で、高齢者が多い。



尾張旭市「あさぴー」

豊川市コミュニティバスと豊鉄バス

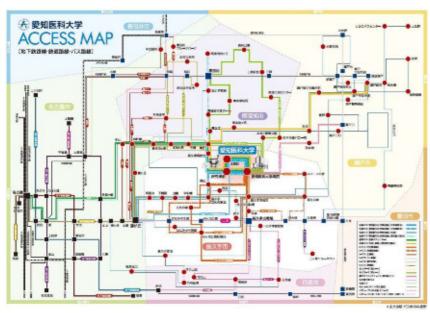
①地域が協働してシステムを構築

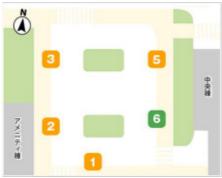


出典:「よりよい地域公共交通ネットワークを形成するための提言書」(H22.3) 国土交通省中部運輸局

23

②バス事業者とコミュニティバスとの連携 愛知医科大学病院ではバスターミナルを整備し、名鉄バス、 長久手市、尾張旭市、瀬戸市のコミュニティバスが乗入れ ている.





【1番のりば】藤が丘(四軒家経由)、藤が丘 (平和橋経由)

【2番のりば】名鉄バスセンター(四軒家・栄経由)、瀬戸駅前(瀬戸市役所南経由)

【3番のりば】尾張旭向ヶ丘(尾張旭駅経由)、 長久手古戦場駅(香桶経由)

【5番のりば】コミュニティバス

【6番おりば】降車専用

3コミュニティバスとタクシーの連携



数//─上接首前 ■ 植物タクシールート

みよし市の「さんさんバス」

武豊町の「ゆめころん」

4住民主体のコミュニティバス

瀬戸市菱野団地では、住民組織が主体となって、事業費 の一部負担、地域のボランティアが運転手を務めるなど 皆で話し合って運行しているバス.



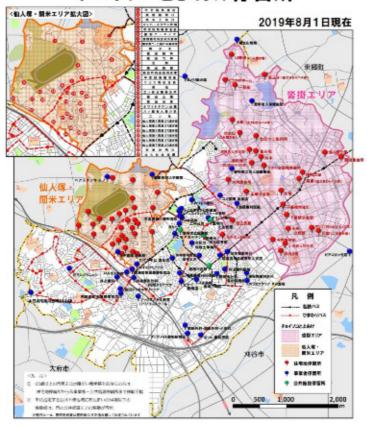
⑤新たな仕組みによるサービスの実証実験 豊明市では、企業が主体となり、行政も協力体制を採って デマンド型の乗り合い送迎サービス(チョイソコ)を展開。



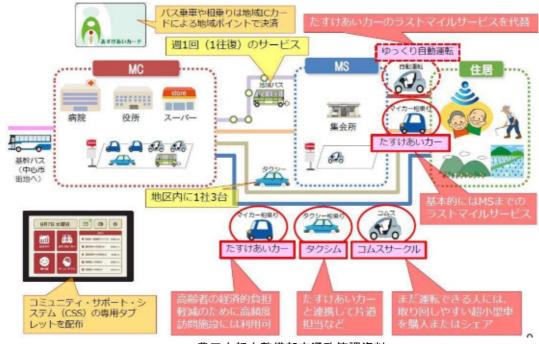


https://www.choisoko.jp > toyoake

チョイソコとよあけ停留所



⑥新たな技術も使った産官学共働プロジェクト 豊田市「たすけあいプロジェクト」は、名古屋大学、東京 大学、豊田市、足助病院の共働によって展開中.



豊田市都市整備部交通政策課資料

29

4. 県の取組へのアドバイス

①地域連携への仕組みづくり

移動は一つの市町村内で完結するとは限らない、特に大規模な病院などは自市町村ではないことが多い、隣接・近接する市町村との連携、協働が必要で、話合う場、仕組みをつくる.

(一部の市町や交通対策課が情報交換の場 を取組んではいるが・・・)

2 ラストワンマイル、運転免許自主返納者 等への対応

高齢者の特性(バス停まで来れない人等) に応じた対応、運転免許自主返納者への対 応なども含めた市町村共通の課題の検討. 例えば、タクシーの活用等

3 MaaSの研究・検討

公共交通でのシームレスな移動や交通モード間の壁の解消を目指して、MaaSが話題となっているが、その導入について研究・検討を進める.

31

【参考】豊川市市民アンケート

